

自治体を守る (臼田裕一郎)

個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

自己紹介

臼田 裕一郎

【研究開発】
国立防災科学技術研究所
防災DX推進センター 専任
防災DX推進研究員

【人材育成】
筑波大学
防災DX推進センター システム連携工学専攻
防災DX推進センター 学友会プログラム 副委員長 (現職)

【社会貢献】
A1防災協議会 / 防災DX推進共創協議会
理事



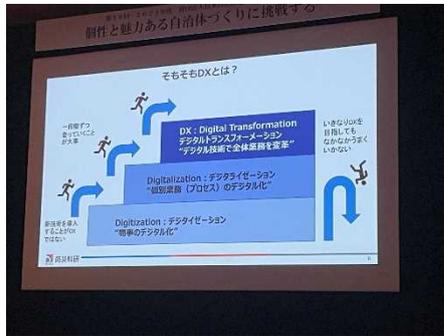
個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

そもそもDXとは？

DX: Digital Transformation
デジタルトランスフォーメーション
“デジタル技術で全体業務を変革”

Digitalization: デジタル化
“個別業務 (プロセス) のデジタル化”

Digitization: デジタル化
“情報のデジタル化”

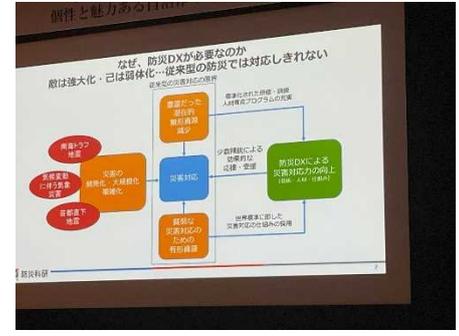


個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

なぜ、防災DXが必要なのか

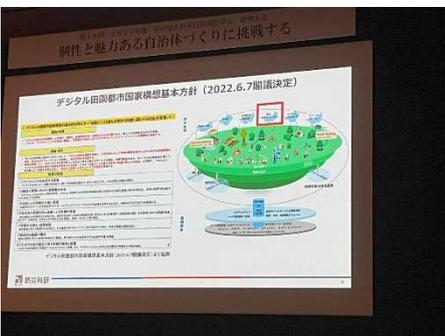
敵は強大化、己は弱体化→従来型の防災では対応しきれない

デジタルDXによる
災害対応力の向上
(DX効果)



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

デジタル田園都市国家構想基本方針 (2022.6.7閣議決定)



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

国土強靭化基本計画 (2023.7.28閣議決定)

新たな国土強靭化基本計画の概要



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

デジタル行政改革会議 (2023.10.6閣議決定)

デジタルを最大限に活用して行政サービス等の提供、強靭化と防災DXを推進し、社会実装を促すこととする。



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

内閣府「防災・減災、国土強靭化新時代の実現のための提言」(2021.5.25)

「災害でも影響を及ぼさない」といふ思い、地域の課題や困りごとを自ら話し、検討・提言

防災・減災、国土強靭化新時代の実現のための提言

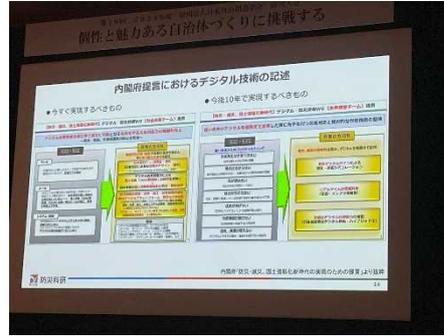


個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

内閣府提言におけるデジタル技術の記述

今すぐ取り組むべきもの

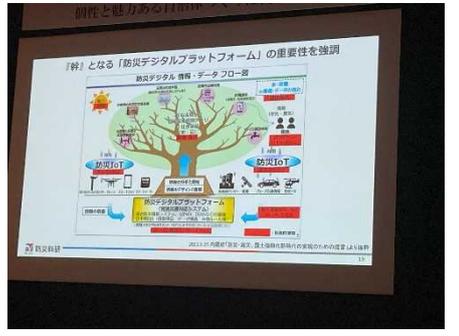
今後10年で実現すべきもの



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

「絆」となる「防災デジタルプラットフォーム」の重要性を強調

防災デジタル連携・データフロー



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

防災DX官民共創協議会(BDX)について

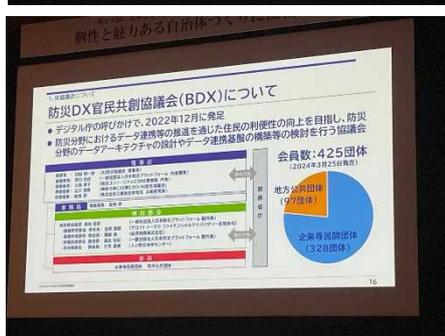
デジタル庁の呼びかけで、2022年12月に発足

防災DX推進の推進を加速し住民の利便性の向上を目指す、防災分野のデータ・テクノロジーの設計やデータ連携基盤の構築等の検討を行う協議会

会員数: 425団体 (2024年3月25日現在)

地方自治体 (97団体)

企業等民間団体 (328団体)



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

災害対応の実態

災害対応の現場では、情報状態の中で、被害、傷亡、要請等、様々な状況を迅速に把握し、的確に意思決定・行動することが求められる。



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

ISUT (災害時情報集約支援チーム：内閣府と防災協力の協働)



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

建物被害推定

basal view



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

ISUT現地活動

ISUT SITEで集約された実地観測の情報を、各実験機関が活用している



個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

能登半島地震を踏まえた活動の基本方針

協議会の活動項目

(1) 短中期の方針

能登半島地震により被災された方々の被害・負担の軽減に資するため、被災地の現場課題やニーズを捉えて主体的に把握する。

(2) 中長期的方針

上記活動を通じて得た知見・経験・教訓を協議会の活動内容及び検討部会活動等に活かす、当該協議会のミッション(「課題特定」「基盤形成」「市場形成」)に繋げる。

